

(参考)

独立行政法人国立循環器病研究センター建替整備構想検討委員会報告書  
(関係部分抜粋)

### 3. 検討の結果

#### (2) 検討結果の要旨

##### ② 箕面市船場地区

延伸計画のある北大阪急行線上に立地し、新大阪駅と結ばれる箕面船場駅(仮称)前にあること、計画では必要な土地面積や都市計画法上の条件を備えていること、現在の立地場所から近く円滑な事業の移行が可能であること、商業地域として今後の産学連携のポテンシャルがあること、民有の拡張用地があること、箕面市の全面的な支援が見込まれることなど利点がある。

一方、移転の前提となる鉄道の延伸や用地の確保が提案通りの計画で実施できるか、現時点では懸念があるといった意見がある。

#### (3) 建替整備地選定に向けて

(略)

当委員会は、3候補地および万博跡地について、提出されたプレゼンテーションをもとに、客観的な立場から検討を行った。いずれの地域においても利点と欠点がある。

しかし、提示された3つの自治体からの提案に限定した評価としては、箕面市船場地区が区画整理による用地の確保が一定期間内に保証されるという条件で、アカデミックの支援や交通アクセス、イノベーション拠点としての発展可能性などを考慮して可能性があるというのが大半であった。

(略)

いうまでもなく、整備地の選定はセンターの専権事項であることから、今後は、本委員会で行われた議論や、関連大学から提示された学術的提案を十分に勘案しながら、センター自らが建替計画との整合性、計画期間内での用地確保や交通アクセス改善の実現性(フィジビリティ)を具体的に検証し、すみやかに選定されるべきものと考える。